

第13回軽金属功績賞

軽金属功績賞は、軽金属に関する学術研究および技術開発に顕著な功績を上げ、当学会の発展に貢献した者に贈る。



井上 博史 君
(大阪府立大学大学院
工学研究科 教授)

井上 博史 君は、結晶集合組織について、解析の手法、形成機構、材料特性に及ぼす効果、制御技術の開発など多様な研究を行ってきた。正極点図による定性的な解析の時代に、定量的な解析が可能になる立方晶系の結晶方位分布関数（ODF）解析プログラムを開発した成果はわが国の集合組織研究の高度化に貢献するものとして特筆される。このプログラムは、現在国内の多数の研究機関で使用され、様々な成果をもたらしている。また同君はODFによる集合組織解析結果から立方晶金属板材のランクフォード値（ r 値）を精度良く予測する手法の開拓に成功し、深絞り性向上のための集合組織制御の指針を与えている。同君の提案したODFによる r 値予測プログラムは汎用化され、多様な機関で使用されている。このODFに基づく材質予測の手法を、曲げ加工性予測も可能になるよう発展させ、板材の成形性の向上にも大きく貢献している。本会においては「集合組織研究部会」の部会長、「加工と熱処理による優先方位制御研究部会」の部会長、編集委員会や研究委員会の委員などを務め、国際的には材料集合組織国際会議（ICOTOM）の国際委員会委員を務めるなど軽金属学会の発展に貢献している。

以上のように、同君は軽金属に関する学術および技術面に顕著な功績を上げており、ここに軽金属功績賞を授与する。